

## 図書館員のひみつの本棚 第2回

みなさん、こんにちは！本があまり好きでない子どもでも、その本と出会うとたちどころに本が好きになる、そんな魔法のような本を毎月図書館員が紹介するコーナーがこの「図書館員のひみつの本棚」。前回の絵本はもう教室で試してみられましたか？試した方はきっと子どもたちの輝く笑顔に出会えたはずです。今回は第2回ということでちょっと欲張って2冊も紹介しちゃいます。

### 『がちょうのペチューニア』

ロジャー・デュボワザン 作 まつおか きょうこ 訳 富山房 1470円 絵本

<お勧め年齢>

幼稚園★★☆ 小低学年★★★ 小中学年★★★ 小高学年★★★ 中学★☆☆  
高校☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

おばかさんのがちょうのペチューニアが本をひろいました。そして本を持ち歩くだけで賢くなったと勘違いします。それを見た動物たちもペチューニアが賢くなったと勘違いしていろんな相談をもちかけます。もちろんペチューニアはいつでも親切に教えてあげました。おかげで動物たちは傷だらけです。あるとき花火の入った箱を見つけた動物たちにペチューニアは言います。『キャンデーってかいてあるわ』そしてくいしんぼうの動物たちは花火にかぶりつき、みんな包帯だらけに。そこでやっとペチューニアは、本って持っているだけじゃだめだってことに気づいたのでした。

<子どもに手渡すときのポイント>

今回もとっても楽しいおはなしです。声に出して読むと楽しさが膨らむので読み聞かせがおすすです。おはなし自体が楽しいので、読む方もいろいろ考えず一緒に楽しんで読んでください。ただ10分以上かかるので、あまり読み聞かせに慣れていない子どもや小さい子には少し難しいかもしれません。



## 『もりのえほん』

安野 光雅 福音館書店 840円 絵本

幼稚園★★★★ 小低学年★★★★ 小中学年★★★★ 小高学年★★★★ 中学★★★★  
高校★★★★

### <本の紹介>

ページをめくるときれいな森の絵です。でもよく見てみてください。ほら、あそこにウサギがいますよ！トラやペリカンやチンパンジー、それに魔女や骸骨まで隠れています。みんなはいくつ見つけれられるかな？

海外でも高い評価を受けている安野光雅氏の絵本です。遊び心いっぱいの動物たちが美しい森の絵の中に巧みに隠されています。大人や高校生でもやりだしたらとまりません。答えは最後のページを見てね。

### <子どもに手渡すときのポイント>

あまり本に興味を示さない子どもでも大好きになる1冊です。ただ、遊び方を自分で見つけるのは難しいので大人が教えてあげてください。そして、一度紹介したら、教室の後ろにそっと置いておいてください。普段は本に手を出さない子どもが、きっと休み時間に夢中になって遊んでいますよ。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

早良図書館 吉岡 さやか